

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
論理国語	探究科・2年	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 精選論理国語（三省堂） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 常用漢字オールクリア 五訂版（尚文出版） <input type="checkbox"/> 傍用参考書 現代文単語帳（詳細未定）
-------------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。	協働的かつ対話的な活動をとおして、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかた</u>について理解できている。 ・ <u>筆者の主張とその前提や反証などについて理解</u>できている。 ・ <u>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること</u>ができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、<u>主張を支える適切な根拠をそろえる</u>ことができている。 ・ <u>多面的、多角的な視点から</u>自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、<u>主張を明確に</u>することができている。 ・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが<u>ら要旨を把握</u>することができている。 ・ 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、<u>新たな視点から自分の考えを深める</u>ことができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、<u>内容に関して自らの考えをもち伝えよう</u>としている。 ・ 学習課題に沿って、本文の内容や表現に注意しつつ、粘り強く<u>筆者の主張をとらえよう</u>としている。 ・ 従来の物事の<u>とらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をも</u>とうとしている。
<p>※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p>		
<p>上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	評論 納得の構造 渡辺雅子	5	語彙・表現 論の展開（対比） 資料文の比較
5	評論 ミロのヴィーナス 清岡卓行	5	語彙・表現 芸術論について
6	評論 めくみ 鷺田清一	6	語彙・表現 社会学・臨床哲学の視点について
7	評論 ゲノム編集と I P S 細胞 山中伸弥	5	語彙・表現 最先端医療と生命倫理について 意見文を作成する
8 9	評論 世代間倫理としての環境倫理学 加藤尚武	5	語彙・表現 封建的価値観と近代的価値観について 環境論について 意見文を作成する
10 11	評論 「である」ことと「する」こと 丸山真男	8	語彙・表現 封建的価値観と近代的価値観について 具体例を想起しながら読解する
12 1	評論 言葉がつくる女と男 中村桃子	10	語彙・表現 ジェンダー論について 参考資料（小説『こころ』の一部）を踏まえ、ジェンダー観の変遷を捉える
2 3	評論 マルジャーナの知恵 岩井克人	6	語彙・表現 資本主義について 具体例を想起しながら読解する

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
古典探究	探究科・2年	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 精選古典探究（大修館書店）
------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できている。	B 評価の規準 [思考・判断・表現] ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができる。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・語句の意味を主体的に調べ、自らの語彙を増やそうとしている。 ・作品や作者について、時代背景も踏まえたうえで、粘り強く考察しようとしている。 ・学習課題について粘り強く取り組もうとしている。 ※以下の事柄を評価対象とする。 ・言語活動 ・提出物(提出状況及び取組内容)
※定期考査および単元別テストおよび古文単語小テスト 「思考・判断・表現」分野は言語活動も評価対象とする		
上記の内容について、取組や成果が特に顕著であった場合、A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	説話『十訓抄』「大江山」	4	語句・修辞
			和歌の解釈
			登場人物の心情を理解する
5	故事「知音」	3	語句・修辞
			登場人物の心情を理解する

6	歌物語『伊勢物語』「月やあらぬ」	4	語句・修辞 和歌の解釈
7	漢詩「竹里館」、「早發白帝城」、 「登岳陽樓」	4	語句・修辞 漢詩の解釈 漢詩の基礎事項（形式・押韻等）の理解
8 9	作り物語『源氏物語』 「若紫との出会い」	7	語句・修辞 作品成立の背景の理解 登場人物の心情の理解 古典常識の理解
10 11	史伝『史記』「鴻門之会」	8	語句・修辞 漢文句法 主題の理解
12	歴史物語『大鏡』「競べ弓」	5	語句・修辞 登場人物の心情の理解 古典常識の理解
1	思想「不忍人之心」、「人之性悪」、 「大道廢、有仁義」	5	語句・修辞 漢文句法 各思想の特徴の理解
2 3	小説『人虎伝』 小説『山月記』	5	語句・修辞 作品の関連性 登場人物の心情の理解

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
地理探究	探究科・2年	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新詳地理探究（帝国書院） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> 資料集 最新地理図表GEO（第一学習社）
-------------	--

科目の目標		
地理総合の学習で身につけた社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを地誌的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。また、現代世界の諸課題を地球的視野で捉え、その対策や持続的な社会の在り方について構想する力や、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通してかん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めようとする。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった、できた] ・世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するために、教師の説明や自分で理解したことを余白やノートにまとめている。	B 評価の規準 [根拠をもって説明・表現できた] ・各単元の概念を踏まえて自然環境と人間生活との結びつきを主題図やグラフ、景観写真を基に、問に対して自分の考えをまとめることができる。 ・学習したことを基に課題解決に向けて考察し、友人同士で説明し合う中で自分事として捉え、新たな視点を獲得できている。	B 評価の規準 [粘り強さ、学びに向かう調整力] ・授業プリントの考察場面で自分なりの理由や解決策を導こうとしている。 ・解決策を導くにあたって必要な資料や情報は何か、まとめ方はどうしたらよいか考え、工夫している。 ・単元テスト前や定期考査前に授業プリントを活用して学習した形跡が見られる。また、学習の振り返りから資料や情報の最適な活用方法を考え、問いの答えを導こうとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テスト、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	世界の地形環境	2	・地形をつくる力 ・プレートの運動とさまざまな境界
	世界の地形環境	4	・変動帯の地形 ・安定地域の地形
5	世界の地形環境	2	・河川がつくる地形 ・海岸と海にみられる地形
	世界の地形環境	4	・氷河地形 ・砂漠地形 ・カルスト地形 ・気候や地質の影響が強い地形 ・地震と津波
6	気候と自然環境	6	・世界の植生

			<ul style="list-style-type: none"> ・気候の見方 ・大気大循環と気候
	気候と自然環境	2	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋と陸水
7	気候と人々の生活	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ケッペンの気候区分 ・熱帯の特徴と人々の生活 ・乾燥帯の特徴と人々の生活 ・温帯の特徴と人々の生活(1)(2) ・亜寒帯(冷帯)・寒帯の特徴と人々の生活
	気候と人々の生活	2	<ul style="list-style-type: none"> ・高山気候の特徴と人々の生活 ・異常気象と気候変化
8	日本の自然環境と自然災害	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形と自然災害 ・日本の気候と自然災害 ・自然災害と防災・減災の取り組み
9	世界の環境問題	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の環境問題 ・地球温暖化の背景と影響 ・オゾンホール、大気汚染の背景と影響 ・森林破壊の背景と地域性 ・日本の環境問題
	産業の発展と社会的分業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の変遷 ・産業構造と地域構造
10	農林水産業	8	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の立地と形態 ・世界のさまざまな農業地域 ・グローバル化と農業地域の変容 ・拡大する世界の農産物流通 ・世界の林業・水産業 ・日本の農林水産業
11	食糧問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧問題の背景と地域性 ・食糧問題の解決に向けて ・日本の食糧問題
	エネルギーと鉱産資源	4	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のエネルギー需要 ・化石燃料 ・電力生産 ・金属資源
	資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料への依存と国家間の対立 ・化石燃料から再生可能エネルギーへ ・日本の資源・エネルギー問題
12	工業の立地と工業地域の変容	8	<ul style="list-style-type: none"> ・工業の立地と工業地域

			<ul style="list-style-type: none"> ・繊維・鉄鋼・石油化学 ・自動車・エレクトロニクス ・新しい技術と工業 ・グローバル化と工業地域の再編 ・工業の知識集約化 ・日本の工業とその変容
1	第三次産業	2	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス経済化の進展と流通産業の発達 ・情報通信業とその集積 ・医療・福祉産業の課題
	交通・通信	4	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の発達(1)(2)(3) ・情報通信技術の発達
2	貿易と経済連携	4	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の自由化と経済連携 ・現代貿易の課題
	観光	2	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の発達と地理的展開 ・様々な観光
3	世界の人口	4	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口分布と人口増加 ・人口動態と人口ピラミッド ・人口移動の変遷と今日の姿
	人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・発展途上国の人口問題 ・先進国の人口問題

※続きは3年次地理探究で実施。

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
日本史探究	普通科・探究科2年	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 日本史探究（実教出版） <input type="checkbox"/> 資料集 最新日本史図表2026（第一学習社） <input type="checkbox"/> ノート 日本史探究マイノート（実教出版）
-------------	--

科目の目標		
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や太奥の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめ (Try)】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿って答えられている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモとして残している</u> 。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【はじめの問い】や【作業 (Point)】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・ノートについて、 <u>教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする</u> など、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	日本文化のあけぼの ～旧石器時代→縄文時代→弥生時代	4	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島最古の文化 ・縄文時代の社会と文化 ・弥生時代の社会と文化
5	ヤマト政権の成立と古墳文化 ～古墳時代	6	<ul style="list-style-type: none"> ・小国の分立と邪馬台国 ・古墳の出現とヤマト政権の成立 ・ヤマト政権の展開と統一の進展 ・古墳時代の生活と文化
6	律令国家の形成 ～飛鳥時代→「白鳳時代」→奈良時代	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古代国家の形成 ・飛鳥文化・白鳳文化 ・律令制度
7		3	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代の政治 ・天平文化
8	古代国家・社会の変容 ～平安時代（初期及び中期）	6	<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制再編期の政治と社会 ・摂関政治の成立と支配体制の転換

			<ul style="list-style-type: none"> ・国風文化
9	荘園公領制の成立と院政 ～平安時代（末期）	5	<ul style="list-style-type: none"> ・荘園公領制の形成 ・院政の成立～院政期の社会 ・平氏の成長～平氏政権 ・院政期の文化
10	中世の国家・社会の展開 ～鎌倉時代	6	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立と朝廷 ・中世に生きる人々 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化
11	中世の国家・社会の変容 ～室町時代	7	<ul style="list-style-type: none"> ・南北朝の動乱 ・室町幕府の政治と外交 ・室町社会の展開と応仁の乱
12		4	<ul style="list-style-type: none"> ・室町文化 ・戦国大名の分国経営
1 2	東アジア世界の変容と天下統一 ～織豊時代	5	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権 ・天下統一の完成 ・近世成立期の文化
3	1年間の振り返り		

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
公共	全学科・2年	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 高等学校 改訂版 新公共（第一学習社） <input type="checkbox"/> 資料集 最新公共資料集（第一学習社） <input type="checkbox"/> 演習ノート 改訂版 新公共ノート（第一学習社）
-------------	---

科目の目標		
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>現代の諸課題をとらえ考察し、洗濯・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、書士料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p>	<p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・まとめや課題に自ら取り組み、学習内容を理解している。 ・資料の読み取りができており、説明の補足等を適切にメモに残している。	B評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・まとめや課題に自ら取り組み、自分の考えを整理できている。 ・級友と協力して取り組み、自分の考えを述べ、班員の考えを記述できている。	B評価の規準 [自己評価] ・取り組み態度を振り返り、おおむね良好な自己評価ができている。 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組む、級友と協力し提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモし、自分なりのまとめ方をしている。マーカーやアンダーライン等も工夫している。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断する。		※居眠りや過度な私語等で周囲に迷惑をかける場合はC評価となる。
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とする。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	5	①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	1	①人間と社会のあり方についての見方・考え方
5	第3章 公共的な空間における基本的原理	4	①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配
	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割		6
6			③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範

	主題2 契約と消費者の権利・責任	2	⑥法をよりよいものにするための権利 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任
	主題3 司法参加の意義	2	①裁判所と司法
7	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	6	②国民の司法参加 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政
8			⑥地方自治と住民福祉
9	主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛	3 3	①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和
10	主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題	3 3	①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題
11	主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界	5 5	①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ
12	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障	2 4	③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉 ①金融の意義と役割 ②金融のいま ①財政のしくみと租税
1	主題13 経済のグローバル化	9	②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障 ①国際分業と貿易

			<ul style="list-style-type: none"> ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き
2			<ul style="list-style-type: none"> ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題 ⑨国際社会のこれから
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	5	<ul style="list-style-type: none"> ①排出量取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
数学Ⅱ 数学A	探究科2年	数学Ⅱ：3 数学A：1			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 最新 数学Ⅱ，最新 数学A（数研出版） <input type="checkbox"/> 問題集 パラレルノート数学Ⅰ+A（前年度からの継続） パラレルノート数学Ⅱ
------	---

科目の目標		
○以下の分野について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。 数学Ⅱ… <u>複素数と方程式</u> ， <u>図形と方程式</u> ， <u>三角関数</u> ， <u>指数関数と対数関数</u> 数学A… <u>図形の性質(空間図形から)</u>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	以下の力を養う。 ・図形の構成要素間との関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力 ・座標平面上の図形について構成要素間との関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力 ・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力 ・問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）</p> <p>と評価する。</p>		
<p>○「知識・技能」の評価問題を理解している。</p> <p>(定期考査)</p> <p>(到達度チェックテスト)</p> <p>(授業時の解答状況等)</p> <p>(自己評価)</p>	<p>○「思考力・判断力・表現力」の評価問題を理解している。</p> <p>(定期考査)</p> <p>(到達度チェックテスト)</p> <p>(授業時の解答状況等)</p> <p>(自己評価・相互評価)</p>	<p>○授業に臨む態度等 (日々の授業時)</p> <p>○課題(宿題)等の取組状況 (プリント・ノート等)</p> <p>○努力度・理解度の自己評価 (到達度チェックテスト)</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。(例：CCA という評価はほぼありえない。)</p>
<p>○主に「定期考査」、単元末または節末ごとに実施する「到達度チェックテスト」にて評価する。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【数学A】 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	4	1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心
5		16	3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図
6	第2節 空間図形 【数学II】 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	16	8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係
1学期期末考査			
7	第2節 高次方程式	10	4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式
8	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	2	1. 直線上の点
9	第2節 円	14	2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円
10	2学期中間考査		
	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数	16	8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数のグラフ

11		16	4. 三角関数の性質 5. 三角関数を含む方程式, 不等式
	2学期期末考査		
12	第2節 加法定理	12	6. 加法定理 7. 加法定理の応用
1	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	12	1. 指数の拡張 2. 指数関数
2	3学期学年末考査		
	第2節 対数関数	9	3. 対数とその性質 4. 対数関数
3		6	5. 常用対数

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
数学B	探究科2年	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 最新 数学B <input type="checkbox"/> 問題集 パラレルノート数学B
------	--

科目の目標		
<p>○以下の分野について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学B…<u>数列</u>，<u>統計的な推測</u></p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>以下の力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力 	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）</p> <p>と評価する。</p>		
<p>○知識・技能の評価問題（主に計算問題）を理解している。</p> <p>[到達度チェックテスト]</p> <p>[定期考査]</p> <p>[授業時の解答状況等]</p>	<p>○思考力・判断力・表現力の評価問題（主に応用記述問題）を理解している。</p> <p>[到達度チェックテスト]</p> <p>[定期考査]</p> <p>[授業時の解答状況等]</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組・提出状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</p>
<p>○主に単元末または節末ごとに実施する「到達度チェックテスト」にて評価する。</p> <p>なお、定期考査は実施しない予定です。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	【数学B】 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列	4	・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和
5		8	・等比数列 ・等比数列の和 ○到達度チェックテスト ・和の記号 Σ
6	第2節 いろいろな数列	8	・階差数列 ・いろいろな数列の和 ○到達度チェックテスト ・漸化式
7	第3節 漸化式と数学的帰納法	4	・数学的帰納法 ○到達度チェックテスト ・まとめ
8	【数学B】 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	4	・確率変数と確率分布
9		8	・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布 ○到達度チェックテスト
10	第2節 統計的な推測	8	・正規分布 ・母集団と標本
11		6	・標本平均の分布 ○到達度チェックテスト
12	数学Bの復習	3	演習
1	数学Bの復習	7	演習
2	数学Bの復習	6	演習
3	数学Bの復習	5	演習

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
物理基礎	普通科・1年 探究科・2年	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 物理基礎（数研出版） <input type="checkbox"/> 物理基礎研究ノート（博洋社）
-------------	---

科目の目標		
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、適切にメモに残している。 ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習や観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自らの考えを記述している。 ・学習内容や観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、仲間と協力して考え、結果をまとめることができる。教師のスタンプがある。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テスト・定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	物理量の扱い方 第1章 運動の表し方	2 3	物理量の扱い方 ①速度
5		3 3	②加速度 ③落体の運動
6	第2章 運動の法則	3 4	①力とそのはたらき ②力のつり合い
7		3 4	③運動の法則 ④摩擦を受ける運動
8			
9	第3章 仕事と力学的エネルギー	2 3 3	⑤液体や気体から受ける力 ①仕事 ②運動エネルギー
10		2 3	③位置エネルギー ④力学的エネルギーの保存
11	第1章 熱とエネルギー	4 4	①熱と物質の状態 ②熱と仕事

12	第1章 波の性質	4	1 波と媒質の運動
		4	2 重ね合わせの原理
1	第2章 音	2	1 音の性質
		3	2 発音体の振動と共振・共鳴
2	第1章 物質と電気抵抗	2	1 電気の性質
		2	2 電流と電気抵抗
		2	3 電気とエネルギー
3	第2章 電場と交流	2	1 電流と磁場
		2	2 交流と電磁波

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
生物基礎	探究科・2年	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 i 版 生物基礎（啓林館） <input type="checkbox"/> 研究ノート（博洋社）
------	---

科目の目標		
生物や生物現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を計りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法を習得するとともに，報告書を作成させたり発表させたりして，科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。 ・観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習活動に真剣に取り組む、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 ・観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自分や班の考えを記述できている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに補足をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の工夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	生物の特徴	2 4	生物の多様性・共通性 細胞の構造
5		1 1 3 2	生命活動とエネルギー ATPの構造 酵素 光合成と呼吸
6	遺伝子とその働き	1 2 3	DNAの構造と遺伝情報 DNA複製 細胞周期
7		3 5	遺伝子の発現 転写と翻訳
8			
9	神経系と内分泌系による調節	1 1 1 2	恒常性と体液 心臓 血液凝固と線溶 自律神経系

10		1	内分泌系
		1	血糖濃度の調節
		1	体温調節
		2	肝臓のはたらき
		2	腎臓のはたらき
11	免疫	2	生体防御の概要
		2	獲得免疫
		2	抗体と免疫記憶
		2	免疫と病気
12	植生と遷移	2	環境と生物
		2	遷移の過程
		2	世界のバイオーム
		2	日本のバイオーム
1	生態系とその保全	2	種多様性と食物連鎖
		2	生態系と生態ピラミッド
2		5	生態系に関する調べ学習
3		2	発表会

令和 8 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
地学基礎	探究科・2年（選択科目）	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 改訂 地学基礎（東京書籍） <input type="checkbox"/> ニューサポート 改訂 地学基礎（東京書籍）
------	--

科目の目標		
地球や地球を取り巻く環境に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技術を身に着ける。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。地球や地球を取り巻く環境を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，野外観察，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法を習得し，科学的に探究する力を身に着ける。	地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとするなど，科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。 ・観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習活動に真剣に取り組む、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 ・観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自分や班の考えを記述できている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに補足をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の工夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1編 私たちの大地 1章 大地とその働き	2	地球の形と大きさ
		1	地球の内部構造
		2	地球内部の動きとプレート
5	2章 地震	1	大地形の形成と地質構造
		2	地震の発生
		2	日本列島付近で起こる地震
6	3章 火山活動	1	地震による災害と防災
		1	火山噴火の多様性 火山の噴火とその形
		1	火山の分布とマグマの発生
7	2編 私たちの空と海 1章 地球大気の大気構造	1	火山による災害と防災
		2	火成岩
		1	変成岩と変成作用
7	2編 私たちの空と海 1章 地球大気の大気構造	2	大気の大気構造

		2	対流圏で起こる現象
8	2章 大気の特徴とその運動	2	放射と地球全体の熱収支
9	3章 海水の特徴とその運動	1	緯度ごとの熱収支
		1	大気の大循環
		1	海洋の構造 海洋の表層循環
		1	海水の深層循環
		1	大気と海洋の相互作用
10	4章 日本の天気と気象災害	2	季節の特徴と気象災害
11	3編 私たちの宇宙の誕生	1	宇宙を探る
	1章 宇宙の構造と進化	1	宇宙の誕生と進化
		1	天の川銀河
		1	太陽の誕生
		1	太陽の特徴
12	2章 太陽系の誕生	1	太陽系の全体像 太陽系の誕生
		1	太陽系の構成
		1	地球の特徴
	4編 私たちの地球の歴史	2	地層の形成
	1章 地層と化石の観察		
1	5編 地球に生きる私たち 1章 日本の自然の恵みと防災	3	地層からわかる情報
		1	地球史の最初期
		2	先カンブリア時代
		1	古生代
		1	中生代
2	2章 地球環境と私たちの生活	1	新生代
		2	人類の進化 地球環境の変化による生物の変
		1	日本の自然環境の特徴
		1	日本の自然の恵み
3	終章 これからの地球環境	1	自然科学の観点からの防災
		2	地球環境の考え方 人間活動がもたらす自然環境の変化
3	5編 地球に生きる私たち 終章 これからの地球環境	3	世界の取り組み

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
体育	2年普通科・探究科・総合ビジネス科	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] ・活動を通して技術の名称や 行い方、体力の高め方を理解 し、各種目特有の技能を身に 付けている。 ・課題解決の方法、協議会の 仕方、効果的な練習方法につ いて理解しようとしている。	B 評価の規準 [思考力・判断力・表現力 等] ・振り返りシートに毎時の 反省を記入し、自己評価を しようとしている。 ・活動の中で、自己や仲間の 動きを比較して良い点や修 正点を発見しようとしてい る。 ・仲間とともに楽しむため の活動方法やその修正の仕 方を見つけようとしている。	B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業に主体的に参加しようと している。 ・活動の目的を理解し、実践しよう としている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑 戦を大切にしようとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動を とるなど健康・安全を確保しようと している。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテス ト、体育理論で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	8	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	体づくり運動 球技（選択①）	4 4	体の動きを高める運動 ○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール

6 7	球技（選択①）	6	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
	体育理論	6	スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保
8	球技（選択②）	2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="checkbox"/> サッカー <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="checkbox"/> 卓球 <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技（選択②）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="checkbox"/> サッカー <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="checkbox"/> 卓球 <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11 12	陸上競技（長距離走）	10	20分間走・ペース走・ロード走

1	球技	6	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
	ダンス		現代的なリズムのダンス
2	ダンス	4	現代的なリズムのダンス 創作ダンス
3	ダンス	4	現代的なリズムのダンス 創作ダンス

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
保健	2年普通科・探究科・総合ビジネス科	1		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択、社会環境づくりが不可欠であることを理解しようとしている。 ・健康の保持増進には、個人のみではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深くかかわっていることを理解しようとしている。	B 評価の規準 ・健康にかかわる原則や概念をもとに情報を整理し、自他や社会の課題を発見しようとしている。 ・生涯を通じる健康や健康を支える環境づくりについて自他や社会の課題解決方法について話し合ったりスライドにまとめたりして、筋道を立てて説明しようとしている。	B 評価の規準 ・授業に自主的に参加しようとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・話し合いやグループ活動に主体的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成など授業内での成果物も評価対象とします。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	座学
5	思春期と健康	1	座学、グループワーク
6	性意識と性行動の選択	1	座学
	妊娠・出産と健康	1	座学
	避妊法と人工妊娠中絶	1	座学、課題学習（グループワーク）
	結婚生活と健康	1	
	中高年期と健康	1	クラス内発表
	単元テスト	1	
	7	働くことと健康	1
8	労働災害と健康	1	座学、グループ活動
9	健康的な職業生活	1	座学、グループ活動
		2	クラス内発表
9	大気汚染と健康		

10	水質汚濁、土壌汚染と健康	7	座学、課題学習（グループワーク）
11	環境と健康に関わる対策		
12	ごみの処理と上下水道の整備	1	クラス内発表、単元テスト
12	様々な保健活動や社会的対策	1	座学
	健康に関する環境づくりと社会参加	1	座学、グループ活動
1	食品の安全性	1	座学
	食品衛生にかかわる活動	2	座学、グループ活動
	単元テスト	1	
2	保健サービスとその活用	1	座学、グループ活動
3	医療サービスとその活用	1	座学
	医薬品の制度とその活用	3	課題学習（グループワーク）
		1	クラス内発表

令和 8 年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
音楽Ⅱ	普通科、探究科、総合ビジネス科、農と食の科学科、緑と水の科学科、社会福祉科	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA 2 (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
------	---

科目の目標		
<p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p>	<p>個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [よく考え、自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができてい る。	B 評価の規準 [主体的・協働的] [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組む、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	【歌唱】 曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、歌おう。	6	①発声の工夫と表現 Alleluja/SUN/歩いて帰ろう/糸/ ハナミズキ 「ヴォイス・トレーニング」 ②楽譜の読み方・書き方 PreludeⅢ/楽典
5 6	【器楽】 ギターの独奏や弾き歌いを楽しもう	10	天体観測 愛のロマンス
	実技試験		

6 7	【鑑賞】 映画音楽	8	映画を彩る音楽 映画音楽について学び、映画や楽曲を鑑賞する。 映画「ハリーポッターと賢者の石」
8 9	【歌唱】 さまざまな歌唱表現を味わおう	8	独唱曲の特徴や性格を捉え、ふさわしい表現を工夫する。 誰かがちいさなベルをおす/浜辺の歌/ フニクリ・フニクラ/春へのあこがれ
10 11	【創作】 創作表現の探究 実技試験	8	旋律の雰囲気を変化させよう Happy Birthday to you 楽譜の読み方・書き方
11 12	【鑑賞・歌唱】 ミュージカルの鑑賞	8	ミュージカルやA. ロイド＝ウェバーについて学び、楽曲を鑑賞する。 歌唱：The Phantom of the Opera 鑑賞：ミュージカル《オペラ座の怪人》
1 2	【器楽】 器楽アンサンブルを楽しもう。 【鑑賞】 オペラ・アリア、作曲者について学び鑑賞しよう。	8	シンコペーテッド・クロック ラ・クンパルシータ
3	【鑑賞】 日本の伝統音楽について学び楽曲を鑑賞しよう。 1年間のまとめ	4	歌舞伎《京鹿子娘道成寺》 薩摩琵琶《川中島》

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
美術Ⅱ	探究科・2年	2			

使用教材	□美術2（光村図書）
------	------------

科目の目標		
<p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p>	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取っている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	B評価の規準 [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	B評価の規準 [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。 ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
	写真の形と色彩の単純化	14	・ポスタリゼーションを用いた美術作品の鑑賞
5	「ポスタリゼーション」		・アクリル絵の具の特性と扱い方 ・平塗り技法の知識と習得 ・ポスタリゼーションに適切な写真の選定と効果的な構図の設定
6			・色面のグラデーションに合わせた色作りと着色について ・相互鑑賞

7	採集するように撮影する 「シリーズ写真撮影、編集」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・写真家ベルント・ベッヒャー、ヒラ・ベッヒャーの作品鑑賞を通してシリーズ写真の表現意図や面白さについて学ぶ ・写真撮影の基本の知識や技術について学ぶ ・写真撮影 ・写真の編集方法を学び、ポートフォリオにまとめる ○相互鑑賞
8			
9	比べて鑑賞する 「自分が座りたい椅子」	14	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン史を代表するイスのデザインを鑑賞して作者の制作意図や工夫、面白さを感じ取る ・主題を決め、それが伝わるデザイン画を描く ・デザイン画をもとにマケットを制作する ・自分の椅子のデザインの狙いをプレゼンテーションにまとめ上げる
10	・椅子のデザインのデザイン画を描き、それをもとにマケット（模型）を制作する		
11	・デザイン画とマケットをもとに自分の椅子をプレゼンテーションする		
12	「日本美術史」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までの日本美術の特徴を学び、日本美術が持つ、時代性、民族性、風土、宗教など他国の美術との相違点や共通点について考えや見方、感じ方を深める
1	素材と向き合う 「ダンボールでできた靴」 ～ダンボールシューズ制作～	15	<ul style="list-style-type: none"> ・靴のもつ歴史や様々な種類の靴の鑑賞を通して素材のもつ魅力や人の足に合わせた構造の工夫について学ぶ ・履いてみたい靴のデザイン画を構造と制作手順を考えながら描く ・デザイン画をもとにダンボールを活用し、素材の持つ構造や質感を生かしながら靴を制作する ・相互鑑賞
2			
3			

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
書道Ⅱ	探究科、総合ビジネス科・2年	2			

使用教材	□書Ⅱ(光村図書)
------	-----------

科目の目標		
<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・書道Ⅱの1年間の学びを知る。
	【漢字の書】 篆書の学習	2	・篆書の成立 ・篆書の特徴
5	篆書の臨書 ・「泰山刻石」	5	・「泰山刻石」の学習と臨書 字形は、おおむね縦長で左右相称 横画は水平、縦画は垂直 転折は丸く滑らか 起筆は蔵鋒 送筆は中锋で線の太さは均一 ・篆書での創作

6	<p>隸書の学習</p> <p>隸書の臨書</p> <p>・「乙瑛碑」</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隸書の成立 ・ 隸書の特徴 ・ 「乙瑛碑」の学習と臨書 字形はおおむね扁平 横画は水平で等間隔 起筆は蔵鋒 送筆は中鋒 波磔がある ・ 隸書での創作
7	<p>【篆刻】</p> <p>篆刻の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篆刻について ・ 印稿を考える ・ 刻す ・ 押印 ・ 鑑賞
8			
9			
10	<p>【漢字仮名交じりの書】</p> <p>漢字仮名交じりの書の創作</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片仮名での表現等を用いた自由創作 ・ 風景を書で表現する。 ・ タブレットを使用した作品制作
11			
12	<p>【漢字の書】</p> <p>漢字創作の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習古典をもとにした漢字作品の創作 ・ 半切2分の1を使用した作品制作
1			
2	<p>【実用書式】</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常に生きる書表現 身近にある筆で書かれたものを探し、書文化に親しむ ・ 日常筆記 履歴書 手紙
3			

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
英語 コミュニケーションⅡ	普通科・2年文系 探究科・2年	4			

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication II <input type="checkbox"/> Power On English Communication II workbook <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks 1 (いっぴな書店)
------	--

科目の目標		
英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと【やりとり】【発表】・書くこと）において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各レッスンにおける文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりしようとする。 各課題について、自分のためになるように効果的に取り組む。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識] 各レッスンにおける文法事項の文の形、意味、用法を理解している。</p> <p>[技能] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>課題については、自力で取り組み、丸つけややり直しなどを主体的に行う。また、期日を守って提出する。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Play Me, I' m Yours	6	助動詞、受け身、S+V+C
	Sounds Interesting 1	1	目立たない音節
5	Lesson 2 Ethical Fashion	6	S+V+O+C
	Zoon in with コーパス 1	1	インターネットはコーパス
6	Lesson 3 One for All, All for One	5	完了形、仮定法過去
	Sounds Interesting 2	1	目立つ音節
7	Leeson 4 Vending Machines	4	関係代名詞（主格、非制限用法）
8	Lesson 4 Vending Machines	2	関係代名詞（目的格）
9	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	6	助動詞+受け身、S+V+C、S+V+O、 It seems that ~
	Essay Writing 1	1	エッセイの構成要素

	Zoom in with コーパス 2	1	副詞
10	Lesson 6 New Banknotes	6	It is said that ～、形式目的語、 助動詞 + have + p. p.
	Sounds Interesting 3	1	音のつながり
11	Lesson 7 Some Secrets about Colors	6	関係代名詞 (所有格)、同格の that、 前置詞+関係代名詞、関係副詞
	Zoom in with コーパス 3	1	パターンに注目
12	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	6	強調、関係代名詞(, which)、to have p. p.
	Sounds Interesting 4	1	リズム
1	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	譲歩、no matter how(when, where)
2	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	仮定法過去完了、分詞構文
	Sounds Interesting 5	1	イントネーション
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	4	過去完了進行形、be + to-do
3	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	2	未来完了形、提案・命令・要求
	Sounds Interesting 6	1	弱形と強形

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
家庭基礎	総合ビジネス科・1年 普通科、探究科・2年	2		○	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 学習ノート 熊本県版家庭科学学習ノート
-------------	--

科目の目標		
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会の中から問題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察し根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知ること・できるようになること、の意味を理解する] ・プリントの記入、スライドの制作、安全への配慮と適切な道具の扱いができ、知識や技術が定着した。 ・調べ学習やプロジェクト学習の視点が定まっており、展開が的確である。	B 評価の規準 [状況に応じ適切に判断し、自分の意見を述べる] ・学習内容に関する自分の意見を表現できる。スライドを見やすく、わかりやすく製作して発表できる。 ・班やグループで意見交換をして考えを深めたり、活動したりすることができた。	B 評価の規準 [粘り強さと向上心がある] ・授業の道具がそろっており時間どおりに授業が開始できる。 ・本時の学習内容を理解し、真剣に粘り強く取り組んでいる。 ・自らのよりよい生活がどうあるべきかを探り、今後の課題を見いだそうとしている。 ・締切日までに提出できた。
※定期考査、実技試験 ※実習・プロジェクト製作物	※定期考査 ※プレゼン内容・発表態度	※プロジェクトの記録 ※学習ファイル・実習の記録
下の項目などのように、特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。 ・社会全体または地域の課題を意識するなど、目的意識を持って学習に取り組んだ。 ・学習や実習活動が的確かつ確実であり、他を率いる存在であった。 ・自らの生活を振り返り改善できた。家族や他者への提案ができた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション 生涯を見通す 人生をつくる	4	○人生を展望する ○目標を持って生きる ○人生をつくる
5	人生をつくる これからの生活を創造する	3	○家族家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会 ○生活をデザインする
6	食生活をつくる	5	○食生活の課題について考える ○食事と栄養・食品 ○調理の基礎 □食物調理技術検定3級
7	衣生活をつくる	6	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する

		3	○ホームプロジェクト計画作成 □夏休み課題
8	ホームプロジェクト	2	○ホームプロジェクト発表会
9	食生活をつくる	5	○調理の基礎（2学期中） □郷土料理講習会
10	衣生活をつくる	6	○衣生活の文化と知恵 ○これからの衣生活 □被服製作実習（ポケットティッシュケース） □被服製作技術検定3級
11	子どもと共に育つ	6	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○子どもとかわる ○子どもとのふれあいから学ぶ ○これからの保育環境
	経済生活を営む	4	○情報の収集と意思決定 ○購入・支払いのルールと方法 ○消費者の権利と責任 ○生涯の経済生活を見通す ○これからの経済生活
12	持続可能な生活を営む	2	○持続可能な社会を目指して
	ホームプロジェクト	1	○ホームプロジェクト計画作成 □冬休み課題
1	超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える	2	○ホームプロジェクト発表会
		5	○高齢者の心身の特徴 ○これからの超高齢社会 ○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方 □認知症サポーター養成講座
2	住生活をつくる	4	○住生活の変遷と住居の機能 ○安全で快適な住生活の計画 ○住生活の文化と知恵 ○これからの住生活
3	学校家庭クラブ活動	2	□学校家庭クラブ活動

令和8年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
マーケティング	総合ビジネス科2年・ 情報類型選択	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 マーケティング（実教出版） <input type="checkbox"/> 準拠問題集 マーケティング（実教出版） <input type="checkbox"/> 問題集 商業経済検定模擬試験問題集1・2級マーケティング（実教出版）
------	---

科目の目標		
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、マーケティングに必要な資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p>	<p>マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p>	<p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 ・マーケティングに関する個別の事実的な知識を口頭または記述によって表出する。 ・一定の手順や段階を追って身につく個別の技術を使って表出する。	B評価の規準 ・知識及び技術を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力などを他者に表出する。	B評価の規準 ・自らの学習を調整しようとしているか。
※定期考査や小テスト、実技テスト等によって評価する。	※定期テストやレポート、話し合いの場面等によって評価する。	※ノートや問題集における記述、授業中の発言、教師による行動観察、宿題提出の期日厳守等によって評価する。
特に成果があった場合はA評価とする。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	introduction	3	○マーケティングを学ぶ意義を理解する。 ○現代市場におけるマーケティングの概要について理解し、現代市場の特徴と関連付けて考える。また、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む。
	第1章マーケティングの概要		
	1. マーケティングの歴史と発展		
	2. 現代の市場とマーケティング		
5	第2章 消費者行動の理解	8	○マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について理解する。 ○購買意思決定までの過程について、消費者の心理と消費者行動に影響を与える要因を関連付けて考えることができる。 また、消費者行動の理解について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。
	1. 消費者の心理と行動の関係		
	2. 購買意思決定過程		
6	第3章 市場調査	12	○市場調査について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
	1. 市場調査の概要		
	2. 市場調査の手順		

	3. 仮説検証の手順		○市場調査に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を科学的に分析する。
	4. 実態調査の方法		
7	第4章 STP 1. セグメンテーション 2. ターゲティング 3. ポジショニング	7	○STP分析について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ○STP分析に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて対応策を考えている。 ○STP分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
8			
9	第5章 製品政策 1. 製品政策の概要 2. 新製品開発 3. 販売計画と生産計画 4. 製品政策の動向	10	○製品政策について企業における事例と関連付けて理解している。 ○製品政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、製品政策を立案・実施、評価・改善をしている。 ○製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
10	第6章 価格政策 1. 価格政策の概要 2. 価格の設定方法 3. 価格政策の動向	10	○価格政策について企業における事例と関連付けて理解している。 ○価格政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、価格政策を立案して実施し、評価・改善をしている。 ○価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
11	第7章 チャネル政策 1. チャネル政策の概要 2. チャネルの選択と管理 3. チャネル政策の動向	9	○チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解している。 ○また、その課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、チャネル政策を立案して実施し、評価・改善している。 ○チャネル政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、その政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

12	第8章 プロモーション政策 1. プロモーション政策の概要 2. プロモーションの種類	9	○プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解している。また、その政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、プロモーション政策を立案して実施し、評価・改善している。 ○プロモーション政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
1	第8章 プロモーション政策 3. プロモーション政策の動向	7	○プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解している。また、その政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、プロモーション政策を立案して実施し、評価・改善している。 ○プロモーション政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
2	第9章 マーケティングのひろがり 1. さまざまなマーケティング戦略 2. サービス・マーケティング	9	○マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解している。 ○マーケティングの広がりに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて対応策を考えている。
3	第9章 マーケティングのひろがり 3. 小売マーケティング 4. 観光地マーケティング 5. グローバル・マーケティング 6. ソーシャル・マーケティング	4	○マーケティングの広がりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
スポーツⅡ	2年探究科・総合ビジネス科	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] ・スポーツⅡを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・スポーツⅡの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 ・体力や技能の程度、性別や目的、障がいの有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践しようとしている。	B 評価の規準 [思考力・判断力・表現力等] ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示して伝えようとしている。 ・自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてより良い改善点を指摘しようとしている。 ・多様な参加者とともに運動するための調整の仕方や競技会の運営方法等について考えようとしている。	B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に意欲的に取り組もうとしている。 ・地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲的に取り組もうとしている。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	スポーツⅡ（球技） ○ゴール型	2	○スポーツ概論 ・スポーツの効果的な学習の仕方
5	□サッカー	6	○ゴール型球技への多様な関わり方① ・ボール操作の動き
6	□バスケットボール		・ボールを持たないときの動き
7	○ネット型 □バレーボール □バドミントン	8	○ネット型球技への多様な関わり方① ・状況に応じたボール操作、安定した用具の操作 ・ボールを持たないときの動き
	○ベースボール型 □野球 □ソフトボール	2	○ベースボール型球技への多様な関わり方① ・バット操作やボール操作

	(各種目通年)		・ ボールを持たないときの動き
8	スポーツⅡ (球技) ○ゴール型	2	○スポーツ概論 ・ スポーツの多様な指導法と健康・安全
9	□サッカー	8	○ゴール型球技への多様な関わり方② ・ 状況に応じたボール操作と空間を利用した攻防
10	□バスケットボール		・ チームの作戦に応じた連携した動き
11	○ネット型	6	○ネット型球技への多様な関わり方② ・ 状況の変化に応じたボール、用具の操作と空間を利用した攻防
12	□バレーボール □バドミントン		・ チームの作戦に応じた連携した動き
	○ベースボール型 □野球 □ソフトボール (各種目通年)	10	○ベースボール型球技への多様な関わり方② ・ 状況に応じたバット操作と走塁 ・ 状況に応じた守備と連携した動き
1	スポーツⅡ (球技) ○ゴール型	12	○ゴール型球技への多様な関わり方③ ・ 多様な楽しさを味わうことができる競技会運営の工夫
2	□サッカー		○ネット型球技への多様な関わり方③ ・ 多様な楽しさを味わうことができる競技会運営の工夫
3	□バスケットボール		○ベースボール型球技への多様な関わり方③ ・ 多様な楽しさを味わうことができる競技会運営の工夫
	○ネット型 □バレーボール □バドミントン ○ベースボール型 □野球 □ソフトボール (各種目通年)		

令和8年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者	必履修科目	原則履修科目
スポーツⅢ	2年探究科・総合ビジネス科	2			

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツⅢを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解している。 ・スポーツⅢの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けている。 ・体力や技能の程度、性別や目的、障がいの有無など様々な違いを超えて、スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践しようとしている。 	B 評価の規準 [思考力・判断力・表現力等] <ul style="list-style-type: none"> ・映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示して伝えようとしている。 ・自然環境下で危機回避及び緊急時の対応方法についてより良い改善点を指摘しようとしている。 ・多様な参加者とともに運動するための調整の仕方や競技会の運営方法等について考えようとしている。 	B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] <ul style="list-style-type: none"> ・多様性・共生などのスポーツを通じた共生社会の実現に寄与する学習に意欲的に取り組もうとしている。 ・地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲的に取り組もうとしている。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	スポーツⅢ（武道及び諸外国の対人的競技等）	2	○スポーツ概論 ・スポーツの効果的な学習の仕方
5	○武道	6	○武道への多様な関わり方① ・武道の伝統的な行動の仕方、礼法
6	□柔道	8	・相手の動きの変化に応じた基本動作から得意技・連絡技・変化技への展開
7	□剣道 (各種目通年)	2	・相手の動きの変化に応じた基本動作から得意技・応じ技への展開
8	スポーツⅢ（武道及び諸外国の対人的競技等）	2	○スポーツ概論 ・スポーツの多様な指導法と健康・安全
9	○武道 □柔道	8	○武道への多様な関わり方② ・健康・安全の確保、用具の取り扱い

10	<input type="checkbox"/> 剣道	6	・相手の動きや攻撃防御に応じた攻防の展開
11	(各種目通年)	10	・相手の動きの変化に対応した攻防の展開
12			
1	スポーツⅢ (武道及び諸外国の 対人的競技等)	12	○武道への多様な関わり方③
2	<input type="radio"/> 武道		・多様な楽しさを味わうことができる競技 会運営の工夫
	<input type="checkbox"/> 柔道		・武道の推進・発展に向けた取り組み
3	<input type="checkbox"/> 剣道		
	(各種目通年)		